

令和元年度  
年報



AZUMINO CITY TOYOSHINA LOCAL MUSEUM

安曇野市豊科郷土博物館



# 目 次

## I ようこそ安曇野市豊科郷土博物館へ 博物館の概要 3

- |              |           |
|--------------|-----------|
| 1 開館からの略歴    | 4 施設の概要   |
| 2 当館の目指すところ  | 5 令和元年度予算 |
| 3 令和元年度・活動方針 | 6 入館者数と内訳 |

## II 企画した展覧会及び関連事業 4

- |                |             |
|----------------|-------------|
| 1 企画展・友の会展・特別展 | 4 博物館見学     |
| 2 講座・学習会       | 5 昔の暮らし体験教室 |
| 3 出前講座         | 6 友の会活動     |

## III 写真でたどる年間活動 11

- |              |             |
|--------------|-------------|
| 1 企画展        | 7 博物館見学     |
| 2 友の会展       | 8 昔の暮らし体験教室 |
| 3 特別展        | 9 その他       |
| 4 こたつ講座      |             |
| 5 ワークショップ・講座 |             |
| 6 出前講座       |             |

## IV 新市立博物館出前展示・小中学校へ の出前展示 17

## V 学芸員実習の受入れ 18

## VI 調査研究・展覧会企画への取り組み 18

## VII 所蔵している資料をできる限り活用 しています 資料管理と活用体制 18

## VIII 市内文化施設及び近隣博物館との提 携・協力 18

## IX 当館に寄せられたみなさまのご意見 利活用者の意見からみる外部評価 19

- 1 アンケート回答者に見る入館者内訳
- 2 常設展示（MATSURI）
- 3 夏季企画展「明科廃寺が造られた時代～その時の明科、安曇野、そして信濃は？～」展
- 4 秋季企画展「絹の道～養われる蚕・自養する蚕～」展
- 5 春季企画展「旅と土産～安曇野から何を求めて旅に出たのか 人々は何を求めてやってきたのか～」展
- 6 今後やってほしい展示

## X 博物館のこれから 23

## 1 開館からの略歴

昭和54年4月	多くの文化遺産の継承を使命とする生涯学習の場として豊科郷土博物館が開館しました。翌年、登録博物館になりました。 以来、収蔵している自然・歴史・民俗・芸術等の資料を収蔵展示するとともに、各種企画展示を開催してきました。友の会を核とした活動も活発に続いています。
平成17年10月	5町村の合併により安曇野市が誕生しました。当館は財団法人による指定管理のもと、市唯一の博物館としての活動を継続してきました。
平成24年4月	安曇野市の直営施設となり、市の主要文化施設として文化の発信と地域に根付いた活動を行い現在に至っています。平成25年度、屋根とトイレを改修し常設展示を替えて、平成26年3月のリニューアルオープンを経て、平成29年3月、4年ぶりのリニューアルオープンをいたしました。
平成27年11月	安曇野市新市立博物館構想策定委員会で検討策定された新市立博物館構想が安曇野市長への提言として示されました。新規建設される市立博物館の基本的内容が明示され、それを受けた市は15～20年後の新博物館開設を発表しました。平成28年、新市立博物館準備室も豊科郷土博物館内に設置されました。

## 2 当館の目指すところ

郷土安曇野の自然・歴史・民俗を対象に庶民の生活にかかわる資料の収集・収蔵・管理に努め、それらの資料の調査研究を行い、その研究成果を展示することを心がけています。展示は人々の心と生活の豊かさに寄与するとともに、新たな文化創造に向けた土壌作りも目指しています。併せて、活動する博物館として生涯学習の場を提供し推進することも大切な目標とします。

自然と人々のいとなみが生み出した安曇野の文化を市民とともに「守り」「育て」「創る」という新市立博物館構想の基本理念に沿った活動を心がけます。

## 3 令和元年度・活動方針

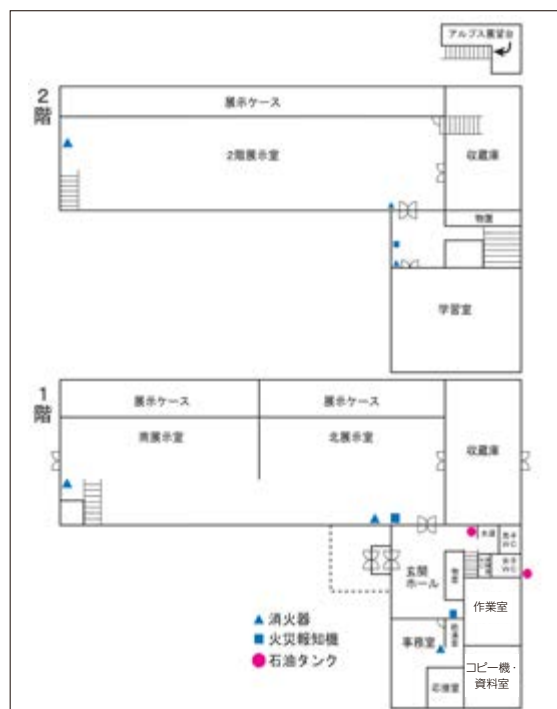
安曇野市の基幹総合博物館として、新市立博物館構想の方向と連携を保ちながら、以下の方針で進めました。

- ◆新市立博物館準備室、文書館、穂高郷土資料館、文化財資料センター等の関係機関との連携を強め、新博物館の具体的構想に活かす形で館内諸活動の充実を図ります。特に新博物館に向け資料の収集・収蔵・整理・研究に努めます。
- ◆市民にとって親しみやすく参加しやすい博物館の実現に向けて、来館者視点で展示等普及公開事業を再検討、改善し、友の会活動や体験講座等の成果も取り込みながら、積極的に取り組みます。

## 4 施設の概要

- 敷地面積2,016㎡
- 建物（鉄筋コンクリート造2階建）面積747㎡（延床面積1,020㎡）

■平面図



## 5 令和元年度予算

総額 約25,732千円

本年度は企画展解説パネル等制作費・研究紀要等刊行物印刷費・施設修繕費・機器リース料・電気代等光熱費・人件費等に使われています。

## 6 入館者数と内訳

入館利用者総数	10,045人	(平成30年度数9,200人)	対前年度比率	109.1%
有料入館者数	1,719人	(平成30年度数1,705人)	対前年度比率	100.8%
児童生徒入館者数	2,688人	(平成30年度数1,814人)	対前年度比率	148.1%

## II 企画した展覧会及び関連事業

### 1 企画展・友の会展・特別展

#### (1) 企画展

No.	展覧会名	開催期間 日数	場所	入館者数
1	第35回白鳥写真展	4月6日(土)～5月26日(日) 44日間	企画展示室	878
2	開館40周年記念特別企画展 「明科廃寺が造られた時代～その時の明科, 安曇野, そして信濃は?～」 (原明芳)	7月6日(土)～9月1日(日) 50日間	企画展示室	1,373
3	開館40周年記念特別企画展 「絹の道～養われる蚕・自養する蚕～」 (倉石あつ子)	9月14日(土)～11月17日(日) 55日間	企画展示室	957
4	開館40周年記念特別企画展 「旅と土産～安曇野から何を求めて旅に出たのか人々は何を求めてやってきたのか～」 (原明芳・倉石あつ子)	2月15日(土)～4月5日(日) 44日間	企画展示室	672

入館者合計 3,880



## (2) 友の会展

No.	展覧会名	開催期間 日数	場所	入館者数
1	第35回山草・サクラソウ展	5月3日(金)～5月6日(月) 4日間	学習室	89
2	第33回写真展・第14回ボタニカルアート展	6月5日(水)～6月23日(日) 17日間	企画展示室	375
3	第16回絵手紙展・第2回戦時生活展	12月4日(水)～12月22日(日) 17日間	企画展示室	459
4	第65回書芸展・第1回着物リメイク展	1月9日(木)～1月26日(日) 16日間	企画展示室	857

入館者合計 1,780

## (3) 特別展

No.	展覧会名	開催期間 日数	場所	入館者数
1	明科のむかしむかし 今から16,000年前、氷河時代に生きていたオオツノジカ	2月15日(土)～2月24日(月) 10日間	企画展示室 前	283

入館者合計 283

## 2 講座・学習会

### (1) 企画展関連講演会・講座

No.	講座名	日時	講師	場所	参加者
1	「ここまでわかった明科廃寺—明科廃寺の発掘調査報告—」 (夏季企画展講座)	7月13日(土)	土屋和章(安曇野市教育委員会)	博物館学習室	54
2	「明科廃寺のあった時代の明科は?」 (夏季企画展講座)	7月20日(土)	大澤慶哲(安曇野市文化財審議委員)	博物館学習室	54
3	「安曇野の養蚕農家」 「安曇野の蚕種業概観」 「養蚕初発の事」 (秋季企画展「絹の道」のプレシンポジウム。長野県民俗の会との共催)	7月27日(土)	多田井幸視(長野県文化財審議委員) 宮本尚子, 倉石あつ子 (豊科郷土博物館職員)	博物館学習室	15
4	館長ギャラリートーク (夏季企画展)	7月27日(土)	原明芳(豊科郷土博物館館長)	企画展示室	15
5	「古代寺院をめぐる景観—明科廃寺を中心に—」 (夏季企画展記念講演会)	8月24日(土)	梶原義実(名古屋大学准教授)	豊科交流学習センターきぼう	84
6	「明科廃寺から、牛伏寺, 若澤寺, そして満願寺—松本平の古代から中世の寺院へ—」 (夏季企画展講座)	8月31日(土)	原明芳(豊科郷土博物館館長)	博物館学習室	60
7	館長ギャラリートーク (夏季企画展)	9月1日(日)	原明芳(豊科郷土博物館館長)	企画展示室	9
8	「繭をつかって遊ぼう!つくろう!」 (秋季企画展講座)	9月16日(月)	倉石あつ子, 松田貴子 (豊科郷土博物館職員)	博物館学習室	大人 3 小人 4
9	「天蚕林と天蚕林センターを見学してみませんか」 (秋季企画展講座)	9月28日(土)	倉石あつ子, 松田貴子 (豊科郷土博物館職員)	安曇野市天蚕センター	大人 15 小人 1
10	「養蚕の信仰と習俗をめぐる〜信州と上州の事例を中心に」 (秋季企画展講演会)	10月5日(土)	板橋春夫(日本工業大学教授)	豊科交流学習センターきぼう	63
11	「ギャラリートーク&虫食うかい(会)?」 (秋季企画展講座)	10月12日(土)	倉石あつ子(豊科郷土博物館職員)	博物館学習室	10
12	「鳥瞰図を楽しもう」 (春季企画展ギャラリートーク)	2月15日(土)	原明芳(豊科郷土博物館館長)	企画展示室	10

13	「キルギス語と日本語の異動一旅をしてきたキルギス人がみた文化的背景―」 (春季企画展講演会)	2月22日(土)	アクマタリエワ・ジャクシルク(東京外国語大学研究員)	博物館学習室	40
14	オオツノジカ特別展示ギャラリートーク	2月22日(土)	横山幸子(安曇野市教育委員会)	企画展示室前	
15	「万葉集のはじまりのうた一旅の文学として読む―」 (春季企画展講演会)	3月22日(土)	上野誠(奈良大学教授)	豊科公民館 (新型コロナウイルス拡大防止のため中止)	

参加者人数合計 437

## (2) 主催講座・イベント

### ① こたつ講座

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所	参加者
1	「現代葬式事情～あなたは家族葬にしますか？」	12月14日(土)	宮本尚子(豊科郷土博物館職員)	博物館学習室	21
2	「仏迎えに行く寺～満願寺・善光寺そして美篁の六地藏～」	12月21日(土)	倉石あつ子(豊科郷土博物館職員)	博物館学習室	29
3	「熊井啓と陸軍松本飛行場」	1月11日(土)	原明芳(豊科郷土博物館館長)	博物館学習室	70
4	「河野齢蔵と植物学の系譜」	1月18日(土)	松田貴子(豊科郷土博物館職員)	博物館学習室	27
5	「室町時代諏訪信仰を広めたのは誰だ？」	1月25日(土)	村石正行(長野県立歴史館専門主事)	博物館学習室	68
6	「復興する満願寺と安曇郡の領主たち」	2月1日(土)	逸見大悟(安曇野市教育委員会)	博物館学習室	60
7	「安曇野パイロット物語～長谷川清登と飯沼正明～」	2月8日(土)	飯沼成昭(飯沼飛行士記念館) 財津達弥(安曇野市教育委員会)	博物館学習室	30
8	「最近気になる生きものたち」	3月22日(土)	那須野雅好(安曇野市教育委員会)	博物館学習室 (新型コロナウイルス拡大防止のため中止)	

参加者合計 305

### ② ワークショップ

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所	参加者
1	クララによる草木染ワークショップ	6月8日(土)	宮嶋通江(染織家)	豊科郷土博物館	大人16
2	夏休みわくわく子どもワークショップ「自然の形を切り絵でたのしもう!」, 「藍の生葉のたたき染め」	7月20日(土)～ 8月18日(日)	豊科郷土博物館職員	豊科郷土博物館	大人32 小人51
3	夏休みわくわく子どもワークショップ「勾玉作りワークショップ」(勾玉作り, 明科廃寺の1200年前の瓦洗い, 企画展見学)	8月4日(土)	原明芳(豊科郷土博物館館長)	豊科郷土博物館	大人24 小人19
4	夏休みわくわく子どもワークショップ「藍の生葉染めワークショップ」	8月6日(火)	博物館友の会自然と暮らしの文化部, 宮本尚子(豊科郷土博物館職員)	鐘の鳴る丘集会所	大人21 小人20
5	夏休みわくわく子どもワークショップ「勾玉作りワークショップ」(勾玉作り, 企画展見学)	8月7日(水)	原明芳(豊科郷土博物館館長)	豊科郷土博物館	大人3 小人8

6	夏休みわくわく子どもワークショップ「安曇野の自然と歴史を学ぼう！穂高・魏石鬼の岩屋（ぎしきのいわや）」	8月10日(土)	原明芳（豊科郷土博物館館長），松田貴子（豊科郷土博物館職員）	豊科郷土博物館，魏石鬼の岩屋，穂高郷土資料館	大人 1 小人 1
7	夏休みわくわく子どもワークショップ「勾玉作りワークショップ」	8月17日(土)	原明芳（豊科郷土博物館館長）	豊科郷土博物館	大人 3 小人 4
8	大麦の虫かご作り	11月9日(土)	宮本尚子（豊科郷土博物館職員），矢口健陽児，宮澤紀美子（友の会会員）	鐘の鳴る丘集会所	大人 46 小人 24

参加者合計 273

### 3 出前講座

#### (1) 学校・教育関連学習会

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所・参加校	参加者
1	ちくに生きものみらい基金による自然観察会 豊科東小学校3・4年生	4月19日(金)	松田貴子，小椋緑（豊科郷土博物館職員）	長峰山山頂	大人 11 小人 60
2	安曇野市の縄文時代から古墳時代 豊科北小学校6年生	4月24日(水)	原明芳（豊科郷土博物館館長）	豊科北小学校	大人 4 小人 83
3	自然観察会（遠足） 波田中央保育園	5月15日(水)	小椋緑（豊科郷土博物館職員）	あがたの森公園	大人 23 小人 20
4	安曇野を知ろう講座 堀金中学校	5月17日(金)	原明芳（豊科郷土博物館館長）	堀金民俗資料館	大人 1 小人 16
5	ちくに生きものみらい基金による自然観察会 豊科北小学校4年生	5月31日(金)	小椋緑（豊科郷土博物館職員）	田淵行男記念館周辺	大人 3 小人 90
6	三郷セルフ 三郷中学校1年生	5月31日(金)	原明芳（豊科郷土博物館館長），逸見大悟（安曇野市教育委員会）	三郷民俗資料館	大人 3 小人 87
7	三郷セルフ 三郷中学校1年生	6月6日(木)	原明芳（豊科郷土博物館館長），逸見大悟（安曇野市教育委員会）	三郷民俗資料館	大人 2 小人 67
8	ちくに生きものみらい基金による自然観察会 堀金小学校4年生	6月11日(火)	小椋緑（豊科郷土博物館職員）	田淵行男記念館周辺	大人 4 小人 85
9	ちくに生きものみらい基金による自然観察会 三郷小学校4年生	6月19日(水)	松田貴子，小椋緑（豊科郷土博物館職員）	田淵行男記念館周辺	大人 8 小人 155
10	「お願い〇〇様」 穂高西小学校3～6年生	7月3日(水)	宮本尚子（豊科郷土博物館職員）	穂高西小学校	大人 14 小人 300
11	七夕講座 豊科南小学校	7月4日(木)	宮本尚子（豊科郷土博物館職員）	豊科南小学校	大人 4 小人 118
12	自然観察会 三郷中学校3年生	7月12日(金)	松田貴子（豊科郷土博物館職員）	住吉神社	大人 2 小人 6
13	三郷セルフ 三郷中学校1年3組	8月30日(金)	原明芳（豊科郷土博物館館長），逸見大悟（安曇野市教育委員会）	三郷民俗資料館	大人 2 小人 32
14	ちくに生きものみらい基金による野外学習 堀金小学校1年生	10月8日(火)	松田貴子，小椋緑（豊科郷土博物館職員）	国営アルプスあづみの公園	大人 11 小人 78
15	校外学習 豊科南小学校	10月16日(金)	宮本尚子（豊科郷土博物館職員）	上鳥羽諏訪神社	大人 1 小人 18
16	地域探検クラブ 穂高西小学校4～6年生	10月21日(火)	宮本尚子（豊科郷土博物館職員）	穂高西小学校	大人 1 小人 6

17	ちくりに生きもののみらい基金による自然観察会 堀金小学校3年生	10月24日(木)	小椋緑(豊科郷土博物館職員) 那須野雅好 (安曇野市教育委員会)	長峰山山頂	大人 4 小人 75
18	小林喜作について 穂高東中学校	10月24日(木)	原明芳(豊科郷土博物館館長)	穂高郷土資料館	大人 1 小人 24
19	地域探検クラブ 穂高西小学校4～6年生	11月5日(火)	松田貴子(豊科郷土博物館職員)	穂高西小学校	大人 2 小人 6
20	総合学習「蚕糸業について」 松本市本郷小学校5年生	12月5日(木)	原明芳(豊科郷土博物館館長)	松本市本郷小学校	大人 2 小人 23

参加者合計 1,452

## (2) 出前講座・観察会(一般)

No.	講座タイトル	開講日	講師	開催場所	参加者
1	「馬耕のはなし」 国営アルプスあづみの公園	5月6日(月)	原明芳(豊科郷土博物館館長)	国営アルプスあづみの公園	大人 18
2	「女性と養蚕」松本史談会	5月11日(土)	倉石あつ子(豊科郷土博物館職員)	松本市立博物館	大人 50
3	「日本人はどこから来たか」 安曇野市協働のまちづくり出前講座	5月11日(土)	原明芳(豊科郷土博物館館長)	三郷公民館	大人 43
4	「安曇野の人生儀礼 大人になるってどんなこと？」 「自然の生きもの 切り絵」 熊倉まちづくり講座	5月26日(日)	宮本尚子、小椋緑(豊科郷土博物館職員)	熊倉公民館	大人 37 小人 45
5	「オオルリシジミと里山の生きもの」 安曇野市環境課観察会	5月26日(日)	松田貴子(豊科郷土博物館職員)	国営アルプスあづみの公園	大人 20 小人 15
6	市民会議主催「森林エリア植物観察会」 長野県烏川渓谷緑地	6月1日(土)	松田貴子(豊科郷土博物館職員)	長野県烏川渓谷緑地環境管理事務所(森林エリア)	大人 21
7	「安曇野のくらしと自然」 二木高齢者クラブ	6月10日(月)	宮本尚子(豊科郷土博物館職員)	二木公民館	大人 22
8	黒斑山観察会 穂高公民館	6月13日(木)	松田貴子(豊科郷土博物館職員)	黒斑山(小諸市)周辺	大人 24
9	飯盛山観察会 「三郷公民館ふるさと講座2」 三郷公民館	7月18日(木)	松田貴子(豊科郷土博物館職員)	飯盛山(南牧村)周辺	大人 21
10	「知って良かった松本の歴史」 松本商工会議所第9回支店・営業所長交流会 講演会	7月19日(金)	原明芳(豊科郷土博物館館長)	ホテルブエナビスタ	大人200
11	第35回安曇野道祖神まつり見学会	8月14日(水)	倉石あつ子(豊科郷土博物館職員)	穂高神社	大人 24
12	「便所を語る!暮らしに欠かせない場所」 ふるさと堀金を楽しむ会講座	8月19日(火)	倉石あつ子(豊科郷土博物館職員)	堀金公民館	大人 43
13	岩原城址付近植物観察会 岩原地区自然と文化を愛する会	9月29日(日)	松田貴子(豊科郷土博物館職員)	岩原城址	大人 12
14	「松本の陸軍飛行場」 長野県図書館協議会地域連携講座	10月3日(木)	原明芳(豊科郷土博物館館長)	松本市南部図書館	大人 22
15	「安曇野の道 善光寺街道から安曇野へ」 安曇野アカデミー	10月3日(木)	原明芳(豊科郷土博物館館長)	豊科交流学習センターきぼう	大人 98
16	野外観察会 松本赤十字乳児院	10月9日(水)	松田貴子(豊科郷土博物館職員)	あがたの森公園	大人 15 小人 9



17	「戦前の観光長野」 長野県中小企業団体連合会事務主任会講演	11月18日(月)	原明芳（豊科郷土博物館館長）	アルピコプラザホテル	大人 58
18	樹木観察会 江戸川区立穂高荘	12月1日(日)	松田貴子（豊科郷土博物館職員）	江戸川区立穂高荘	大人 9 小人 5
19	新しい植物分類学習会 国営アルプスあづみの公園	2月8日(土)	松田貴子（豊科郷土博物館職員）	国営アルプスあづみの公園	大人 17
20	三九郎と繭玉焼き体験 行事解説 国営アルプスあづみの公園	2月9日(日)	倉石あつ子（豊科郷土博物館職員）	国営アルプスあづみの公園	大人 25 小人 15
21	「安曇野の人生儀礼 葬式の変化を中心に」 吉野高齢者友の会	2月19日(水)	宮本尚子（豊科郷土博物館職員）	吉野コミュニティーセンター	大人 40

参加者合計 908

## 4 博物館見学

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所・参加校	参加者
1	博物館見学 松本大学博物館課程	5月6日(月)	宮本尚子（豊科郷土博物館職員）	豊科郷土博物館	大人 10
2	歴史学習 豊科南中学校社会科クラブ	6月21日(金)	原明芳（豊科郷土博物館館長）	豊科郷土博物館	大人 1 小人 18
3	博物館見学 葵エンジニアリング	6月22日(土)	逸見大悟（安曇野市教育委員会）	豊科郷土博物館	大人 56
4	博物館見学 中信地区高校校長会	7月2日(火)	原明芳（豊科郷土博物館館長）	豊科郷土博物館	大人 18
5	実技講習会「人物誌」 「安曇野市パイロット物語—二人の違った人生—」 安曇野市校長会	7月30日(火)	原明芳（豊科郷土博物館館長），財津達弥（安曇野市教育委員会）	豊科郷土博物館	大人 15
6	展示解説 國學院大學	8月3日(土)	原明芳（豊科郷土博物館館長），倉石あつ子（豊科郷土博物館職員）	豊科郷土博物館	大人 22
7	博物館見学 福島県須賀川市	8月29日(木)	財津達弥，逸見大悟（安曇野市教育委員会）	豊科郷土博物館	大人 4
8	博物館見学 武蔵野市立第六中学校	9月4日(水)	豊科郷土博物館職員	豊科郷土博物館	大人 13 小人 63
9	博物館見学 豊科東小学校3年生	9月11日(水)	宮本尚子（豊科郷土博物館職員）	豊科郷土博物館	大人 5 小人 30
10	ちく生きもののみらい基金による博物館見学 豊科南小学校社会科クラブ	9月25日(水)	倉石あつ子，松田貴子（豊科郷土博物館職員）	豊科郷土博物館	大人 1 小人 18
11	博物館見学 松川村松川小学校3年生	1月24日(金)	宮本尚子（豊科郷土博物館職員）	豊科郷土博物館	大人 4 小人 71
12	「生き続ける上原良司のメッセージ」 安曇野市教育会社会科同好会	2月7日(金)	原明芳（豊科郷土博物館館長）	豊科郷土博物館	大人 30

参加者合計 379

## 5 昔の暮らし体験教室

（会場は各小学校）

No.	講座タイトル	開講日	講師	参加者
1	昔の暮らし体験教室 穂高南小学校3年生	1月17日(木)	矢口健陽児，勝野辰雄，小穴金三郎，猿田進，宮澤紀美子，豊科郷土博物館職員2名	大人 5 小人 96

2	昔の暮らし体験教室 三郷小学校3年生	1月21日(火)	矢口健陽児, 勝野辰雄, 小穴金三郎, 猿田進, 宮澤紀美子, 澤柳まき子, 豊科郷土博物館職員4名	大人7 小人180
3	昔の暮らし体験教室 明北小学校3年生	1月23日(木)	矢口健陽児, 勝野辰雄, 小穴金三郎, 猿田進, 宮澤紀美子, 豊科郷土博物館職員3名	大人4 小人22
4	昔の暮らし体験教室 穂高西小学校3年生	1月24日(金)	矢口健陽児, 勝野辰雄, 小穴金三郎, 猿田進, 宮澤紀美子, 豊科郷土博物館職員2名	大人2 小人64
5	昔の暮らし体験教室 豊科南小学校3年生	1月29日(水)	矢口健陽児, 勝野辰雄, 小穴金三郎, 猿田進, 宮澤紀美子, 澤柳まき子, 豊科郷土博物館職員2名	大人4 小人109
6	昔の暮らし体験教室 豊科東小学校3年生	2月3日(月)	矢口健陽児, 勝野辰雄, 小穴金三郎, 猿田進, 宮澤紀美子, 豊科郷土博物館職員3名	大人3 小人29
7	昔の暮らし体験教室 明南小学校3年生	2月6日(木)	矢口健陽児, 勝野辰雄, 小穴金三郎, 猿田進, 宮澤紀美子, 豊科郷土博物館職員3名	大人3 小人36
8	昔の暮らし体験教室 豊科北小学校3年生	2月7日(金)	矢口健陽児, 勝野辰雄, 小穴金三郎, 猿田進, 宮澤紀美子, 豊科郷土博物館職員3名	大人5 小人103
9	昔の暮らし体験教室 堀金小学校3年生	2月14日(金)	矢口健陽児, 勝野辰雄, 小穴金三郎, 猿田進, 宮澤紀美子, 百瀬新治, 豊科郷土博物館職員3名	大人4 小人72
10	昔の暮らし体験教室 穂高北小学校3年生	2月20日(木)	矢口健陽児, 勝野辰雄, 小穴金三郎, 猿田進, 宮澤紀美子, 百瀬新治, 豊科郷土博物館職員3名	大人7 小人120

参加者合計 875

## 6 友の会活動

No.	講座名	会員数	活動回数	参加のべ人数	活動場所	企画展
1	絵手紙部	29	20	310	博物館20回	1
2	着物リメイク部	12	21	140	博物館21回	1
3	郷土史部	27	9	63	博物館6回 現地4回	
4	山草部	17	6	82	博物館3回 現地3回	1
7	写真部	7				1
5	自然部	52	6	150	現地6回	
6	自然と暮らしの文化部	22	14	113	博物館8回 現地6回	
8	植物画	26	21	268	博物館21回	1
9	安曇野植物調査部	14	20	128	博物館12回 現地8回	
10	書道部	19	42	562	博物館2回 その他39回	1
11	戦時生活部	11	10	160	博物館8回 その他2回	1
12	タカラさがし部	66	9	391 (大人208) (小人183)	博物館1回 現地8回	
	参考 友の会研修旅行		1	42	東濃地方	

参加者合計 2,409

### Ⅲ 写真でたどる年間活動

#### 1 企画展

##### ① 第35回白鳥写真展



##### ②開館40周年記念特別企画展「明科廃寺が造られた時代～その時の明科，安曇野，そして信濃は？～」



◆展示風景



◆記念講演会 梶原義実氏「古代寺院をめぐる景観—明科廃寺を中心に—」



◆企画展講座 土屋和章氏「ここまでわかった明科廃寺—明科廃寺の発掘調査報告—」



◆館長ギャラリートーク



③ 開館40周年記念特別企画展「絹の道～養われる蚕・自養する蚕～」



◆展示風景



◆展示風景



◆特別記念講演会 板橋春夫氏「養蚕の信仰と習俗をめぐって～信州と上州の事例を中心に～」



◆ワークショップ「繭をつかって遊ぼう！つくろう！」

④開館40周年記念特別企画展「旅と土産～安曇野から何を求めて旅に出たのか 人々は何を求めてやってきたのか～」



◆展示風景



◆ギャラリートーク



◆記念講演会 アクマタリエワ・ジャクシルク氏「キルギス語と日本語の異同～その文化的背景～」

※特別講演会 上野誠氏「万葉集のはじまりのうた～旅の文学として読む～」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

## 2 友の会展



◆第35回山草・サクラソウ展（山草部）



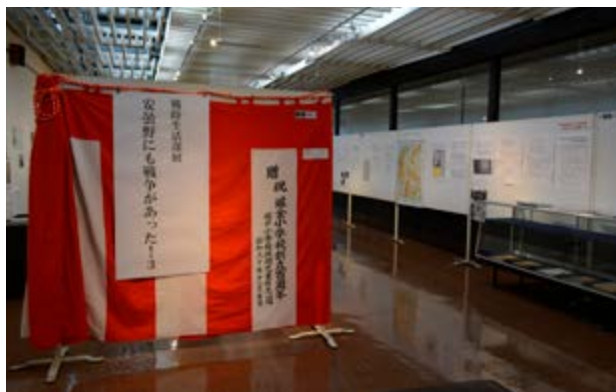
◆第14回ボタニカルアート展 ギャラリートーク（植物画部）



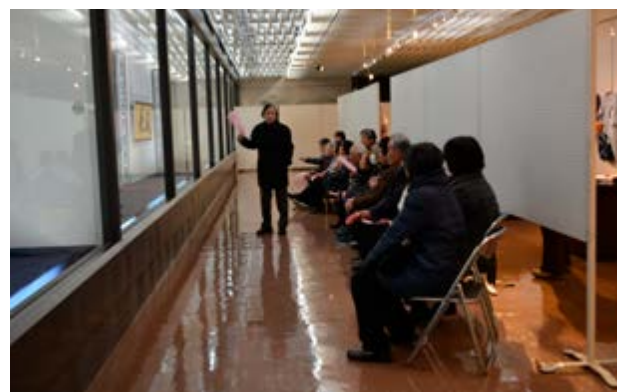
◆第33回写真展（写真部）



◆第16回絵手紙展（絵手紙部）



◆第2回戦時生活展（戦時生活部）



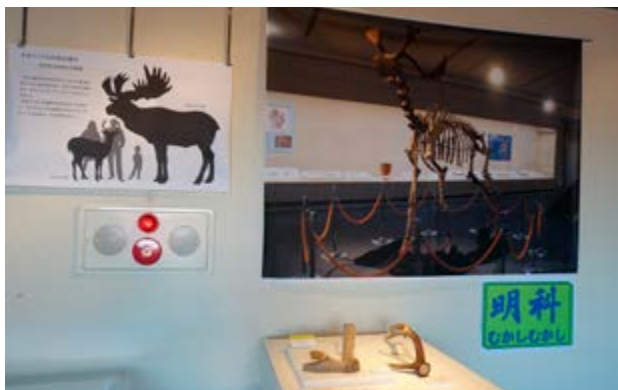
◆第65回書芸展 ギャラリートーク（書道部）



◆第1回着物リメイク展（着物リメイク部）



### 3 特別展 「明科のむかしむかし 今から16,000年前、氷河時代に生きていたオオツノジカ」



◆展示



◆ギャラリートーク

### 4 こたつ講座



◆村石正行氏「室町時代諏訪信仰を広めたのは誰だ？」



◆倉石あつ子「仏迎えに行く寺～満願寺・善光寺そして美篁の六地藏～」

### 5 ワークショップ・講座



◆クララによる草木染ワークショップ



◆夏休みわくわく子どもワークショップ「自然の形を切り絵でたのしもう！」



◆夏休みわくわく子どもワークショップ「勾玉作りワークショップ」



◆夏休みわくわく子どもワークショップ「藍の生葉染めワークショップ」





◆夏休みわくわく子どもワークショップ「安曇野の自然と歴史を学ぼう！穂高・魏石鬼の岩屋（ぎしきのいわや）」



◆大麦の虫かご作り

## 6 出前講座



◆ちくに生きもののみらい基金による市内小学生向け観察会（於：国営アルプスあづみの公園）



◆市内小学校向け校外学習（於：上烏羽諏訪神社）

## 7 博物館見学



◆中信地区高校校長会見学



◆市内小学校見学

## 8 昔の暮らし体験教室



## 9 その他



◆昆虫標本防虫剤交換



◆調査研究：満願寺周辺の植生調査



◆博物館の窓辺の緑のカーテン



## IV 新市立博物館出前展示

博物館では新市立博物館準備室が中心となって、平成28年度からテーマをコンパクトにまとめた出前展示を行っています。令和元年度は以下のようなテーマで展示を行いました。

開催期間・日数	展示名	場所	主催
3月21日(木)～4月26日(金) 37日間	コンパクト展示「安曇野の春の訪れⅡ～桜の世界～」	穂高交流学習センター みらい	新市立博物館準備室・ 豊科郷土博物館
4月1日(月)～4月30日(火) 30日間	コンパクト展示「安曇野の特産物」 ※美術館博物館連携事業の一環として	東京都江戸川区総合文化センター	新市立博物館準備室・ 豊科郷土博物館
4月2日(火)～5月6日(月) 35日間	コンパクト展示「加助の姿～時代の流れと共に～」	貞享義民記念館	新市立博物館準備室・ 豊科郷土博物館
4月10日(水)～5月31日(金) 52日間	コンパクト展示「私たちの暮らしから環境を考える～究極のリサイクルだったトイレの利用～」	三郷交流学習センター ゆりのき	新市立博物館準備室・ 豊科郷土博物館
4月10日(水)～6月30日(日) 82日間	コンパクト展示「臼井吉見その人その言葉」	堀金支所	新市立博物館準備室・ 豊科郷土博物館
4月28日(日)～7月31日(水) 95日間	コンパクト展示「改元に見る市民生活展」	文書館	新市立博物館準備室・ 豊科郷土博物館
5月8日(水)～6月12日(水) 36日間	コンパクト展示「擬態展～生き物たちの忍術～」	三郷公民館	新市立博物館準備室・ 豊科郷土博物館
6月27日(木)～8月7日(水) 42日間	コンパクト展示「七夕～そのロマンと現実～」	三郷公民館	新市立博物館準備室・ 豊科郷土博物館
8月1日(木)～9月2日(月) 33日間	コンパクト展示「常念校長・佐藤嘉市と学校登山」	堀金公民館	新市立博物館準備室・ 豊科郷土博物館
8月16日(金)～9月2日(月) 18日間	コンパクト展示「安曇野を発展させた蚕～家蚕と天蚕～」	市役所本庁舎	新市立博物館準備室・ 豊科郷土博物館
8月18日(日)～12月27日(金) 132日間	コンパクト展示「あづみの？あずみの？安曇野～安曇野市の変遷を辿る～」	文書館	新市立博物館準備室・ 豊科郷土博物館
9月5日(木)～9月30日(月) 26日間	コンパクト展示「安曇野を発展させた蚕～家蚕と天蚕～」	江戸川区立穂高荘	新市立博物館準備室・ 豊科郷土博物館
9月27日(金)～10月25日(金) 29日間	コンパクト展示「秋の七草」	三郷公民館	新市立博物館準備室・ 豊科郷土博物館
10月16日(水)～11月13日(水) 29日間	コンパクト展示「わたくし、松川から三郷へお嫁にきました」	市役所本庁舎	新市立博物館準備室・ 豊科郷土博物館
11月12日(火)～12月1日(日) 20日間	コンパクト展示「『じょうきょうそうどう』を知っていますか」	三郷交流学習センター ゆりのき	新市立博物館準備室・ 豊科郷土博物館
11月1日(金)～11月5日(火) 5日間	コンパクト展示「改元に見る市民生活展」	安曇野市教育会	新市立博物館準備室・ 豊科郷土博物館
3月24日(火)～5月6日(水) 44日間	コンパクト展示「貞享義列碑建立の歩み」	安曇野市教育会	新市立博物館準備室・ 豊科郷土博物館

### ◆小中学校への出前展示

開催期間・日数	展示名	場所	主催
6月17日(月)～7月18日(木) 32日間	コンパクト展示「常念校長・佐藤嘉市と学校登山」	明科中学校	新市立博物館準備室・ 豊科郷土博物館
6月27日(木)～7月26日(金) 30日間	コンパクト展示「盆～先祖を迎える日」	明科中学校	新市立博物館準備室・ 豊科郷土博物館

10月28日(月)～11月5日(火) 9日間	コンパクト展示『『じょうきょうそうど う』を知っていますか』	堀金中学校	新市立博物館準備室・ 豊科郷土博物館
12月17日(火)～12月27日(金) 11日間	コンパクト展示「昆虫のひみつ」	穂高西小学校	新市立博物館準備室・ 豊科郷土博物館

## V 学芸員実習の受入れ

本年度の当館での学芸員実習の希望は例年に比べ多く、7名でした。

企画展の撤収や準備を行うことで実物資料の扱い方を学んだり、個人宅の土蔵の整理に参加するなど、博物館業務の実際を体験できる研修を実施しました。実習の締めくくりとして、博物館が提示したテーマに基づき、実習生が展示企画を立案・発表しました。同じテーマを自分なりの切り口で、自ら調査研究をすることで、博物館における展示や教育普及とは何かと考えられる研修を行いました。



実習生による展示実習

## VI 調査研究・展覧会企画への取り組み

当博物館では、安曇野市内の自然や歴史、文化の価値をさらに深め、また新たな価値を見出していくために、調査研究を進めています。これらの成果は、博物館紀要や企画展を通じて広く安曇野市内外の皆様にお伝えしています。令和元年度の紀要第7号では、5つの研究が報告されました。このような調査研究活動は、展示・講座などの博物館活動を支え、市民の学習・研究活動の支援につながっています。

また館内外の活動を広く市民の方々に周知するために、企画展示が行われたり、講演会が行われたりするたびに、新聞・放送関係をはじめとする広報活動を行ってきました。

ホームページでのお知らせ、市の広報誌等を利用した広報活動も頻繁に行っております。また、平成29年度から始めた出前展示を今年度も行い、公民館・学校等の要請を受け、今年度も出前展示を貸し出して多くの方々に見ていただきました。

## VII 所蔵している資料をできる限り活用しています

### 資料管理と活用体制

#### 収蔵資料数と主な内容

平成24年4月1日現在の収蔵品数と主な収蔵品名は以下のとおりです。

- 歴史資料 約12,000点 小穴亀一文庫・旧吉野小学校教科書・南穂高村消防組資料・豊科町誌関係資料
- 民俗資料 約1,900点 農耕・養蚕・漁労関係資料・衣食住関係資料
- 美術資料 約200点 小林章・藤森桂谷・井口香山
- 自然資料 約6,200点 動物剥製・昆虫標本・化石標本・植物標本
- 蔵書その他 約5,600点

収蔵品総点数 約25,900点

## VIII 市内文化施設及び近隣博物館との提携・協力

企画展資料として、安曇野市文化財資料センターより、明科廃寺関連資料を借用。同様に安曇野市文書館の古文書資料を借用して展示活用しました。また、旧三郷民俗資料館及び旧堀金歴史民俗資料館等の収蔵資料を



展示資料として活用しました。

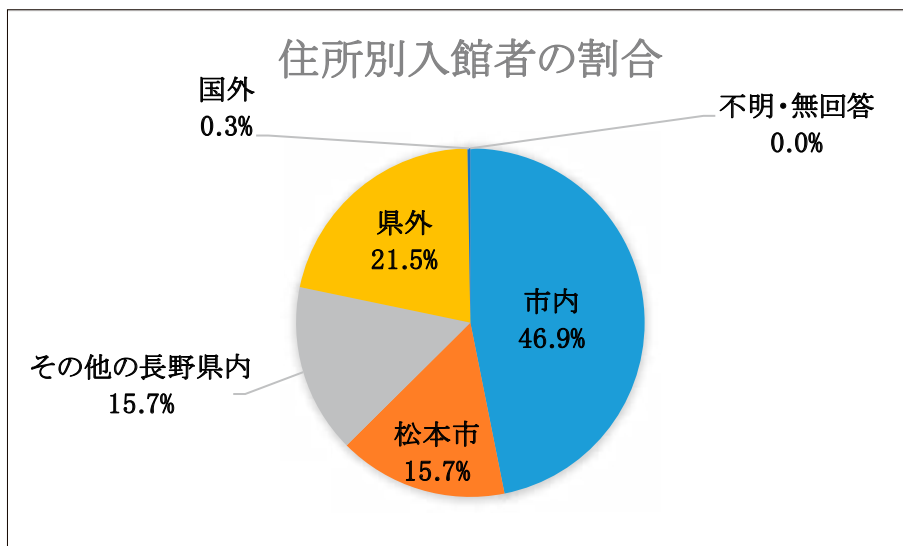
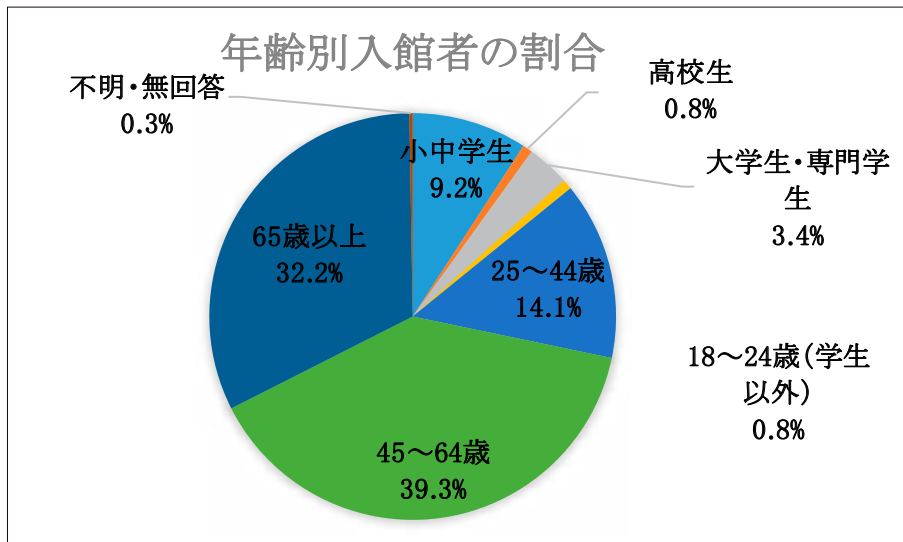
その他、松本市立博物館・長野県立歴史館・上田市立信濃国分寺資料館等より資料を借用し、企画展にて展示しました。当館資料も県外博物館へ貸し出すなど、県内外の博物館と相互資料貸借を行いました。

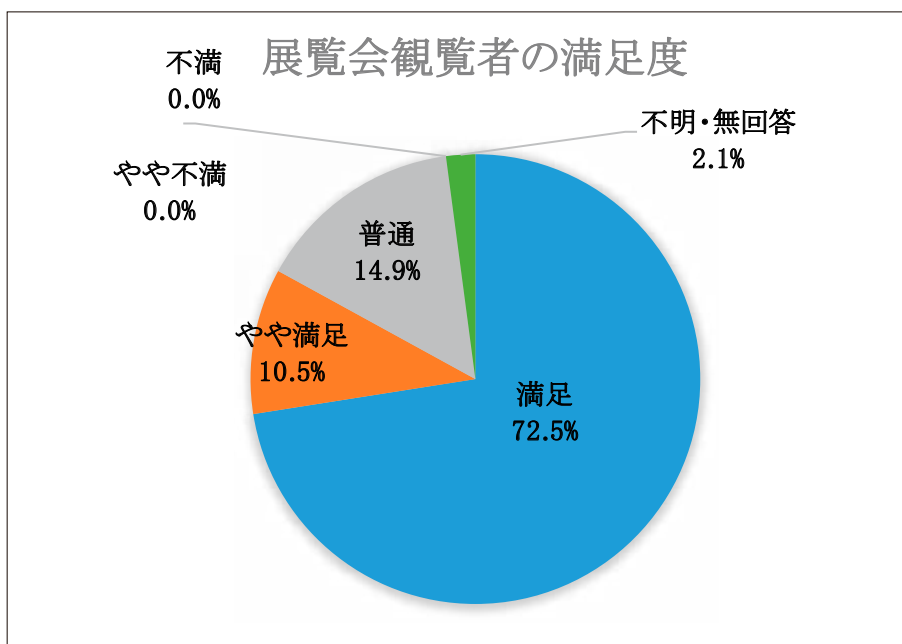
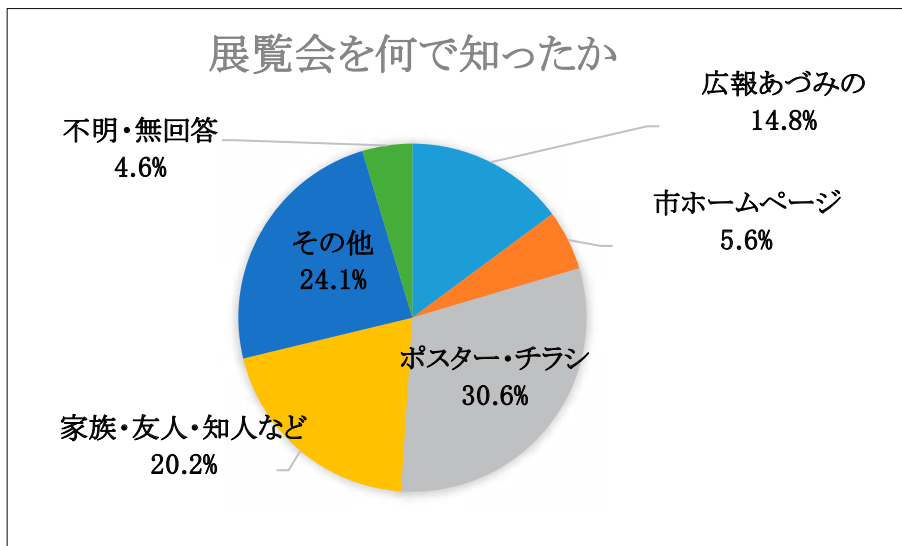
但し、旧明科歴史民俗資料館・旧堀金歴史民俗資料館・旧三郷民俗資料館等の収蔵資料・施設を含めた統一は今後も課題として残されました。

## Ⅸ 当館に寄せられたみなさまのご意見

## 利活用者の意見からみる外部評価

### 1 アンケート回答者に見る入館者内訳（夏季・秋季・春季）





## 2 常設展示 (MATSURI)

感想については以下のとおりです。

- ・古民家の内部，お祭りに関して興味を持った。
- ・松本と安曇野の祭りの違いなど知ることができて，面白かった。昭和の暮らしも面白かった。
- ・安曇野の様々なマツリが展示されていて，興味深く拝見しました。
- ・田舎の家屋が懐かしく，道具類も使った記憶があります。
- ・古民家が懐かしく，とても気に入った。(昭和40年に，安曇野を訪れたことがある。)
- ・なぜ海のある地域ではないのに，オフネ祭りがあるか知りたい。

## 3 夏季企画展「明科廃寺が造られた時代～その時の明科，安曇野，そして信濃は？～」

感想については以下のとおりです。

- ・瓦の大きさが思いのほか大きくて驚きでした。
- ・発見された遺跡の分布図が面白かった。
- ・身近なものがあり，親近感がありますが，さらに掘り下げて解説していただけると興味がわきます。

- ・明科廃寺の展示は、中央集権の大和王朝の支配下に信州もあった証拠として興味深かったです。
- ・テーマそのものが興味深い。土地の魅力が発見できる。
- ・以前から明科廃寺の話だけ聞いていたので、実際の遺物展示を見ることができてよかった。
- ・明科に、大化の改新の頃からこんな大きな建物があつたとは。瓦などの実物が見られて感激しました。
- ・1,000年以上も前から、この地が仏教とつながりがあつたと知ることができた。
- ・分かりやすくよかったです。地元に住んでいるが、知らないことばかりだったと気づきました。
- ・瓦を洗ってみたいと思いました。
- ・展示説明が分かりやすく、とてもよく理解できました。この地域の古代史に興味がありました。
- ・発掘された瓦を実際に見ながら、館長の説明を聞くことができた。想像力がわき、興味深く学ぶことができた。
- ・古墳のことをもっと知りたかった。瓦塔というのを見たのが初めてでよかった。
- ・明科廃寺の展示は意欲的に取り組まれており、いろいろ考えるきっかけになりそうでとても面白く感じました。
- ・第5次調査の成果だけでなく、第1～4次調査にも言及してほしい。
- ・イヤホンガイドがほしい。

#### 4 秋季企画展「絹の道～養われる蚕・自養する蚕～」

---

感想については以下のとおりです。

- ・天蚕の幼虫の写真が美しかった！葉の緑も鮮やかで、保護色であることを実感しました。殺菌のため「圃場林の土も焼く」ことが理にかなっていて、野焼きは必要だと思いました。
- ・蚕にまつわるお話、とても興味が持てました。4回脱皮（シン・タカ・ニワ・フネ）…なかなかよかったです。馬と蚕の親近性はなぜ？
- ・子どもの頃、祖母が養蚕をしていたので、その時の様子が思い出されました。蚕を大切に育てていて、足の裏で踏んだり、つぶしたりしないように注意されました。絹はとても大事な品だったのだと思います。忘れかけていた思い出ですが、安曇野の古くからの生活を後世に伝えていくことの重要性・定義を感じました。
- ・養蚕技術についての書籍や刊行物、他で見たことがなかったので驚いた。
- ・一つ一つの展示が詳細でリアリティーがありました。手に取ったり、直に見られることも嬉しい。
- ・昔、小学生の頃、蚕のさなぎを給食で食したことが思い出されました。
- ・小さいとき、蚕を飼っていたので、白い繭しか知らなかった。緑の繭は、初めて見ました。
- ・よくまとまっていて、知識が得られました。
- ・安曇野らしい民俗資料は大変興味深く勉強になった。蚕種屋が多くあつたことはこの展示で初めて知った。蚕のことがよく分かりました。
- ・安曇野の特徴ある資料を展示している。
- ・実物展示や触れるものが多かった。
- ・天蚕のクヌギ林の見学会は、とても興味深くよい企画でした。
- ・絹、天蚕について多面的で面白かったです。実物の展示も。信仰や行事とのかかわりをもっと知りたいです。

#### 5 春季企画展「旅と土産～安曇野から何を求めて旅に出たのか 人々は何を求めてやってきたのか～」

---

感想については以下のとおりです。

- ・地元にながら知らなかった観光の歴史、名所を知ることができた。登波離橋の桜を見に行きたい。
- ・Iターン組で、安曇野の歴史、文化、山に興味がある。
- ・安曇野の観光資源を先代の皆さんが活用している様子が分かり、とてもよかったです。
- ・案内マップ現代地図への落とし込みが、面白いと思った。
- ・昔のパンフレットなど、実物がたくさん展示してあって、面白かったです。どの展示物もよいです。

- ・旅の古文書が参考になりました。
- ・家が旧池田鉄道周辺のため、「旅」というテーマで取り上げていただき、よかった。(養蚕で衰退という暗いイメージを持つ人が多いため) 上高地は観光としてハガキも多く残っていると思うが、安曇野市なので、燕山荘の載っている資料がもう少し多くてもよかったと思いました。
- ・ポストカードはモノクロに着色? 当時のアナログ製版で、色を出しているのがすごい。
- ・江戸時代から現代の土産物に至るまで、幅広く、旅にまつわる事柄が取り上げられていてとても興味深く楽しく拝見させていただきました。
- ・池田鉄道は、存在を知らなかった。
- ・地元の資料の展示が嬉しい。どこかの家にあるものの中からすごいヒントになるものがあります。
- ・観光地図を見て、古くから著名な寺社を知り、歴史を感じた。お土産品も懐かしくてよかった。載せてある古い写真も興味深かった。
- ・江戸時代の旅は、できれば、現代の料金にしていくらくらい分かればもっとよかった。

## 6 今後やってほしい展示

---

- ・八面大王などのより古い時代の企画
- ・河川の変遷(どこを流れていたか)
- ・縄文土器やその他土器など。
- ・地球、宇宙など誕生の歴史、安曇野市の歴史
- ・古墳展(写真と出土品) A~H 群、たたら展、馬具展、出土の勾玉、管玉、小玉など飾り
- ・安曇族(仁科文化・歴史)
- ・古代の装身具展
- ・去年もやっていた、古地図展を定期的にやってほしい。
- ・安曇野の水害の歴史
- ・日本刀剣展。長野県内の名刀、郷土刀の展示・紹介。
- ・塔ノ原城、平瀬城、小岩岳城
- ・この地域の独特の暮らし、拾ヶ堰の成り立ち。
- ・明科地域の古墳。
- ・戦後から市が成立するまで。
- ・仏教関係の郷土史、郷土との関わりについて。
- ・食生活や暮らしの展示。
- ・絶滅危惧種
- ・再度ですが、北村遺跡展。
- ・安曇野の仏像
- ・江戸時代の生活用品、長持、箆筒、引手金具の流れ デザイン性。
- ・化石をもっとたくさん見たい。
- ・安曇野出身の人物(常設展で)
- ・安曇野、松本市の城の歴史と中央とのつながり(安曇野・松本の名手の名前と位置)
- ・道祖神について。
- ・昭和の生活。
- ・穂高古墳群について。
- ・安曇野の自然史。
- ・安曇野にいる生物。
- ・あの世展のパートⅡ。
- ・昆虫、植物の展示。
- ・明治、大正時代の安曇野市。
- ・安曇族の由来。
- ・安曇野市域の神社の歴史。

- ・大糸線の話，糸魚川の道など交通の発達。
- ・便所の展示
- ・昔，栽培していたもの。桑もそうですが，ホップ，タバコの葉とか経済状況や世相で消えたもの。
- ・郷土料理，精進料理について。
- ・製糸（麻，綿，絹）や織物の産業・技術についての展示。生きた蚕の展示。
- ・商業発展の歴史。（今は衰退しているので）
- ・有明山史。
- ・地元との氏族の過去と現代への関わり。
- ・安曇野の産業について。
- ・自然環境の変化と安曇野の暮らしの変わりよう。
- ・安曇野市成立のビフォーアフター
- ・農村の女性史。
- ・イエ制度の変遷。
- ・この地の植物の種類や特徴。
- ・安曇野の漬物の文化。
- ・馬や牛など人間と生活してきた生き物との暮らし，生活など。
- ・安曇野の自然災害の歴史と内容，糸静線断層群と地震について。
- ・「塩の道」や街道について。

## X 博物館のこれから

令和元年度は，企画展で文化財資料センターや文書館等の所蔵の資料を展示するなど，関係機関と連携して企画展を実施し，多くの皆さんに公開することができました。また講座等ではさらに多岐にわたる内容で例年よりも回数を増やして実施することができ，多くの方々に参加いただきました。博物館友の会でも，引き続き活発な活動が行われています。

一方で，3月の講座や講演会は，新型コロナウイルスの感染拡大の恐れから，中止を余儀なくされたものもありました。この課題は今後しばらく博物館としても立ち向かわなければならないでしょう。新しい生活様式の中で，博物館での事業内容が問い直される状況です。これからも市民の博物館として，次世代を担う子どもたちをはじめ多くの皆様に親しんでいただき，魅力的な学びを提供できる博物館を目指していきます。



## 安曇野市豊科郷土博物館

〒399-8205 長野県安曇野市豊科4289番地 8  
TEL 0263-72-5672 FAX 0263-72-7772  
公式サイト <http://azuminohaku.jp/>

発行 令和2年6月30日